

なんたん

No. **27**

農業委員会だより

平成27年 8 月号



今一度安全確認を!

『鳥獣害対策用電気さく を設置する際の主な注意点!』

- ⚡ 危険である旨の表示
- ⚡ 電気さく用電源装置の使用
- ⚡ 専用の開閉器(スイッチ)の設置
- ⚡ 漏電遮断機の設置



ごあいさつ	2
農業委員の紹介	3
地域農業を支える	4
まちかど通信	5
担当地区一覧	6
新任広報委員の頑張るアピール	
農地の賃借料情報 他	7
なんたんあっちこっち 他	8

発行 南丹市農業委員会

編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL.0771-68-0067 FAX.0771-63-0654 E-mail: co-nougyou@city.nantan.kyoto.jp

URL = <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/resource/nougyou.html>

南丹市農業委員会 新体制決定!

平成27年6月30日の任期満了に伴い、選挙委員30名と選任委員7名の農業委員が決定いたしました。委員の任期は、平成27年7月1日から平成30年6月30日です。これから3年間、農家のみなさんの身近な相談役として農業委員会活動を積極的に展開していきます。よろしくお願いたします。



農業委員会
会長
の
野中 一三
み

日本人の主食はお米です

引き続き会長をおおせつかり、身の引き締まる思いをいたしております。今ほど日本の農業について抜本的な対応をしない限り、主食であるお米が不足する時が必ずくるといえます。今、アメリカから米の輸入が強く求められており、アメリカでは、日本人用米が生産されていると聞きます。地形的に大規模経営のアメリカと日本では太刀打ちできないのも当然です。かといってこのまま見逃すことはできません。私が、国民の皆さんにお願いしたい事は、国民一人ひとりが一日三食三杯のご飯（お米）を食べていただく事をお願いしたい。今の日本人

は、お米でなくパンや麺類を食べておられる方が多すぎます。市民の皆さんには、日本の特産を守るため、一日三食三杯のご飯を食べていただくことを重ねてお願い申し上げます。あいさつといたします。



農業委員会
会長職務代理
会
おさわ 泰一
やすかず

農業・農村を守る活動

農業委員会改選後の総会において、会長職務代理の大役を引き続き務めることになりました。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、私たちの農業を取り巻く情勢は、大変厳しいものになってきま

した。アメリカ議会で大統領貿易促進権限（TPA）法案が成立しました。この法案の成立によって、環太平洋連携協定（TPP）交渉が加速し、成立することも考えられます。

農林水産物の重要5品目など聖域確保を求める日本、アメリカ産米の日本への輸入枠の拡大を求めるアメリカ、農業者は大きな不安を持ちながら見守ることしかできません。

このような中身について国会で議論される様子もありません。政府には、決して妥協することなく、国内農業という「国益」をしつかりと守ることを求めなければなりません。

国内においては、米の低価格や高齢化問題さらには有害鳥獣による被害等により、農家の生産意欲が失われ、耕作放棄地も増加、限界集落も近年増えてきている現状です。地域農業の将来に危機感を持っている農家が多いと思います。

農業委員会としても、研修を積み

重ね、地域農業の持続的発展のために役立つ情報の収集及び、提供に努めて行かなければなりません。一部ではありますが、農家自ら加工販売に積極的に取り組まれているところもあります。行政、JAと連携して、いかに農地・農村を守っていくのかという課題に取り組んでいきたいと思っております。ご協力をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

われら農業委員！
農地、農業を守るため
精一杯頑張ります。



力を合わせて農地・農業を守る メンバーを紹介!!

頑張る農業委員37名は以下のとおりです。(順不同・敬称略)

八木町出身委員



園部町出身委員



美山町出身委員



日吉町出身委員



地域農業を支える あの人のこの団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動されている団体や個人の農業者をシリーズで紹介します。

谷牧場
『酪農教育ファーム活動』
谷 幸さん
(八木町)



牧場経営をする谷ファミリー

「いのちをふれあう・いきるをふれあう・酪農体験を通して、食のいのちの学びを支援する。」という目的をもって、生命産業である酪農の特性を活かし、平成19年より体験活動をしています。地域や学校と連携しながら、子どもたちの「心の教育」や「いのちの教育」「食の教育」を支援しており、最近では、年間平均800人〜1000人の方が、体験に来られます。

5月17日『母子寡婦福祉会』の体験の様子をご紹介します。

【体験メニュー】

- 牧場のお話
- 牛(子牛)とのふれあい
- 子牛の哺乳
- 餌やり
- 搾乳
- バターづくり



子牛がミルクを飲み、一生懸命生きようとしている。またミルクを吸う強さは、生命力の強さであるということを感じてもらいます。

【子牛に哺乳】



「ミルクはいのちである。皆はそのいのちを頂いている。」ということをお話しし、後の体験につなげます。

【牧場のお話】

体験者は、牧場に来られるのが初めての方が多く、牧場に入る注意や、牧場に対するモチベーションをあげてもらったためのお話をします。その後、牧場の仕事、牛の餌やからだについて等の話の中で、皆さんの食卓にいかん安全で安心なミルクを届けることができるかを訴えます。最後には、「ミルクはいのちである。皆はそのいのちを頂いている。」ということをお話しし、後の体験につなげます。



バターは、ミルクの中の脂肪同士がくっついて固まったもので、100ccのミルクから4gのバターしか作れない貴重な食料品であることを知ってもらいます。

【バター作り】

ミルクがどのようにして乳製品になるのかを、身近に体験してもらうことによって、食品への理解を深めてもらいます。

【搾乳の説明】

子牛を産まないといミルクが出ないことや、母牛は子牛のためにミルクを出していることを伝え、それを人間が分けてもらっていることを伝えます。

酪農家は、毎日休むことなく愛情込めて牛の世話をしていることや、ミルクは、血液から栄養を吸収し、ミルクに生まれ変わること。ミルクは、牛の命から与えられる大切な飲み物であることを伝えます。



田舎娘の菓子工房 MUW

うえだ まり さん (京都市右京区京北)

心のこもった愛情ケーキをどうぞ
(期間限定イベント出店)

フレンチレストランに就職が内定した平成21年春、難病にかかり、故郷京北に帰ることになりました。その当時は、落ち込み、周り比べて自分は何も出来ないのではと思っていました。その2年後、いろいろな方の支えや出会いがあり、地元京北に工房を構えお菓子作りを始めることができました。今では、病気になったからこそ今の仕事が出来、私のお菓子を「好きだ」と言ってもらえる方々に出会えるのだと思えるようになりました。

私の作るお菓子は地元京北の季節の野菜や黒豆、無農薬の果物で作ったジャム、美山の卵や牛乳、米粉を使ったシンプルな焼菓子が中心です。老若男女の方に安心して食べて頂けるように、シンプルな素材に加えるのは、アルミニウムフリーのベーキングパウダーや重曹のみです。

製造から包装、配送まですべての工程を一人で行うので、一度にたくさんは作れず、お客様をお待たせしてしまうのが悩みですが、ひとつひとついい心に込めて作れる今のスタイルがとても気に入っています。

今では京都府各地のイベントに出店させて頂き、その度に新しい出会いがあり、普段から食べていただいているお客様に出会えることが私のパワーの源になっています。これからもそんな出会いを大切に、目の前のことに感謝しながら私らしく日々過ごしていきたいです。そして、食べるとホッとひと息つけるような、誰かと一緒に食べたくなるような、そんなお菓子を作っていけたらなと思っています。

ギャラリーカフェ 道の途中

田中 裕子 さん
(園部町)

『ギャラリーカフェ道の途中』は、園部町口人に建つ古民家をリノベーションしたお店です。

地元で採れた新鮮野菜を取り入れたプレートランチは、当店の人気メニューです。また、珍しい野菜を出しすると更に喜んでいただけます。南丹市では農家さんと直接関わったり、採れたて野菜が豊富に並んでいる等、新鮮野菜が手に入り易いことがとても嬉しいです。

丹誠込めて作られた新鮮野菜が食べられるという事はとても贅沢な事で、心を豊かにしてくれます。

この土地に来て、野菜に対する認識が変わり、改めて地元産野菜の魅力を感じています。

これからも食を通して南丹市の良さを多くの方にお伝え出来ればと思います。



みなさんのお越しをお待ちしています。

※「リノベーション」古い建物のよさを活かしながら住む人の生活スタイルに合わせて中古物件を再生する。

担当地区一覽

園 部 町						
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属	
会 長	野中一二三	園部町城南町	—	62-0522	農地部会	
	野中 好	園部町城南町	元町、小山東町、小山西町、城南町、栄町、美園町、小桜町	62-0660	農地部会	
	関 隆宏	園部町船阪	大西、船阪、仁江、竹井	68-3739	農地部会	
	原田 均	園部町南八田	天引、南八田、法京、大河内	65-0605	農地部会	
	奥村 安治	園部町南大谷	殿谷、埴生、南大谷、若森	65-0774	農地部会	
農政副会長	野村 健	園部町越方	高屋、大戸、熊原、佐切、越方	62-3586	農政部会	
	木村 裕	園部町黒田	横田、黒田	62-2359	農政部会	
広報副委員長	小林 義雄	園部町半田	半田、口人、口司、穴人	62-1031	農政部会	
	平野 清久	園部町船岡	船岡	62-0897	農政部会	
	田中 忠夫	園部町上木崎町	上木崎町、河原町、内林町、木崎町	62-3606	農政部会	
	高屋 安男	園部町瓜生野	瓜生野、熊崎、新堂、千妻、曾我谷	62-3409	農政部会	
八 木 町						
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属	
農地部会長	平井 一三	八木町北屋賀	屋賀、北屋賀	42-3121	農地部会	
	浅田 均	八木町日置	刑部、北廣瀬、日置	42-2739	農地部会	
	波部 良典	八木町八木	八木、柴山	42-3622	農地部会	
	中川 泰宏	八木町氷所	青戸	42-5555	農地部会	
	廣瀬 但	八木町八木嶋	南廣瀬、大藪、八木嶋	42-3835	農地部会	
	松本 國夫	八木町山室	船枝、山室、室橋	42-3125	農政部会	
	人見 保夫	八木町氷所	氷所	42-3408	農政部会	
	麻田 次男	八木町池上	諸畑、野条、池上	42-3474	農政部会	
	徳山 憲司	八木町神吉	神吉	44-0518	農政部会	
	高屋 恭久	八木町西田	観音寺、西田	42-4669	農政部会	
	市原 松司	八木町室河原	鳥羽、玉ノ井、美里、室河原、木原、池ノ内	42-3284	農政部会	
日 吉 町						
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属	
会長職務代理	大沢 泰一	日吉町田原	田原(彰徳・興風・和田・新シ・片野)	73-0123	農政部会	
	宇野十三治	日吉町胡麻	胡麻	74-0053	農政部会	
農地副会長	中川 輝男	日吉町中世木	中世木、生畑、木住、中、天若	72-0805	農地部会	
	小林 利治	日吉町四ツ谷	四ツ谷、佐々江	73-0041	農地部会	
	吉田 陽子	日吉町殿田	殿田、田原(東雲)	72-1078	農地部会	
	谷口 定己	日吉町上胡麻	上胡麻、畑郷	74-1046	農地部会	
	吉田 正美	日吉町志和賀	保野田、志和賀	72-0868	農地部会	
美 山 町						
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属	
農政部会長	上田 純二	美山町鶴ヶ岡	鶴ヶ岡、盛郷、福居	76-0003	農政部会	
広報委員長	梅津 義明	美山町小淵	三埜、脇谷、小淵、向山、檜原、音海	75-1223	農政部会	
	長野 敏	美山町河内谷	河内谷、江和、田歌、芦生、白石、佐々里	77-0627	農政部会	
	林 昭男	美山町原	原、板橋、宮脇、下吉田、長谷、島	75-1085	農地部会	
	谷本みどり	美山町豊郷	高野、豊郷	76-0712	農地部会	
	東 伊三生	美山町大野	上司、和泉、静原、萱野、大野	75-1290	農地部会	
	坂本 宗	美山町下平屋	又林、下平屋、上平屋、安掛、野添、長尾、深見、荒倉、内久保(上カルノ以南)	75-1448	農地部会	
	中野 貞一	美山町北	南、北、中、下、知見、内久保(小谷以北)	77-0505	農地部会	

農業者年金 ～担い手積立年金～

農業者年金は、国民年金第1号被保険者である農業者の皆様が、より豊かな老後生活を過ごすことができるよう国民年金(基礎年金)に上乗せした任意加入の公的年金制度です。



その1. 積立方式で少子高齢化に強い年金です。

自ら積み立てた保険料と、その運用益によって将来受け取る金額が決まる積立方式(確定拠出型)をとっています。このため、加入者・受給者の数に左右されにくい安定した年金制度です。運用利回りの状況などで、保険料が引き上げられることもありません。

その2. 保険料の額は自由に決められます。

保険料は、加入者が月額2万円～6万7千円まで、千円単位で自由に設定できます。また、農業経営の状況や、老後の設計に応じていつでも見直すことができます。

その3. 税制面の優遇措置(社会保険料控除)があります。

支払った保険料の全額が、所得税・住民税の社会保険料控除の対象となります。ひとり当たり、年間最大80万4千円の所得控除です。

その4. 終身年金で80歳までの保証付きです。

年金は生涯保証されます。仮に、加入者が80歳までに死亡された場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、遺族の方に支給されます。

農業者年金の特徴メリットのまとめ

- ・農業者の方なら広く加入できる
- ・少子高齢化時代に強い積立方式(確定拠出型)の年金
- ・保険料の額は自由(月額2万～6万7千円)に決められる
- ・終身年金で80歳までの保証付き
- ・保険料の全額社会保険料控除など税制面の優遇措置
- ・認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助あり

新任広報委員の 頑張るアピール



委員の改選により、広報委員会でも8名の新任委員が活躍することとなりました。カメラを持って取材等におじゃまさせていただくかもしれません。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

市民の代表の委員として、地域の方々のお役に立てるよう努めます。

新任広報委員ですが、年3回の発行で面白く、楽しく、記憶に残る広報紙作りを他の委員の方と考え、地域の発展のために尽くしたいと思えます。

〈廣瀬但 委員〉

初めてのことでわからないことばかりですが、南丹市の農業の発展と、より良い紙面作りのために頑張っていきたいと思えます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

〈徳山憲司 委員〉

広報担当は新任です。

農業振興を図るため活動をしています。その取組みの中で、ふるさとへの愛着を深め、農業をより深く理解していただきたく情報通信紙「なんとん」を発行しています。皆さんからの情報提供をお待ちしています。

〈波部良典 委員〉

広報委員の一員として頑張ります。農産物や農業行事で特筆できる事柄がありましたらお知らせください。失敗例も農作物の栽培等に役立つと思えます。

色々な事例を紙面に掲載したいと思えます。ご一報をお待ちしています。

〈小林義雄 委員〉

年々、整備された田畑が荒廃していく風景を見ると淋しさを感じます。少しでも良い状態で次の世代に引き継げるよう皆さんと知恵を出し合い、取り組みができるよう頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

〈谷口定己 委員〉

農業委員会広報委員の新任としてお世話になることになりました。農業を取り巻く環境は厳しいですが、明るい話題を求めて皆様のところに伺いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

〈平野清久 委員〉

初めまして新任広報委員です。

わかりやすく、また読みたいたっていただける広報紙をめざして頑張りますのでよろしくお願いいたします。

〈関隆宏 委員〉

団塊の世代ですが、一山越えてもう一度人との出会いを大切に生きていきたいと思い、新たな道を選択しました。今だからできる事、今しか出来ない事、心に刻み挑戦します。

「いつするんですか。いましてしょう！」

〈宇野十三治 委員〉

農地の賃借料情報

お知らせ

平成26年1月から12月までに締結された南丹市の農地の賃借料水準は次のとおりです。農地の賃借借契約の目安として活用してください。なお、データがなかったものや少数のものは示していません。

田(水稻)の部

(単位:円/10アール、筆)

地域区分		平均額	最高額	最低額	データ数	使用貸借(無償)データ数
市街化区域	園部・八木地域	-	-	-	0	3
市街化区域以外の地域	園部・八木地域	5,600	10,700	1,500	71	142
	日吉地域	5,200	10,000	2,000	22	46
	美山地域	1,800	4,000	800	11	60
(参考) 南丹市平均		5,300	-	-	-	-

畑(普通畑)の部

(単位:円/10アール、筆)

地域区分		平均額	最高額	最低額	データ数	使用貸借(無償)データ数
市街化区域	園部・八木地域	-	-	-	0	0
市街化区域以外の地域	園部・八木地域	-	-	-	2	2
	日吉地域	5,900	8,000	3,000	7	5
	美山地域	-	-	-	0	3
(参考) 南丹市平均		6,600	-	-	-	-

なんたん

あっちこっち

とにかく広い南丹市。

南丹市のあちらこちらでは、その地域ならではの面白く、楽しい、また興味深い取り組みがされています。

そんな南丹市の、あっちこっちのできごとを紹介します。

かやぶきの里で知られる美山町北集落で『今年も豊作でありますように。』と5月10日「お田植え祭」が開催されました。

今年で6回目を迎えたこのイベントには、300人余りの観光客が来場し「神饌田」を取り囲みました。

厳肅な神事後、昔懐かしい綱笠に紺がすり姿の早乙女14人が、ていねいに苗を植える姿に観客の歓声とカメラのシャッター音が絶えることはありませんでした。

お田植え祭は、知井八幡神社、美山



『お田植え祭』かやぶきの里(美山町)



ふるさと(株)、かやぶきの里保存会、地元農事組合等で組織する実行委員会が毎年開催しており、秋には収穫祭もします。実行委員長は「観光イベントとして終わらせることなく、農業の大切さ、日本文化の素晴らしさを広く伝える行事として守っていきたい。」と語っていました。

また同日、京都府南丹警察署や福井県小浜警察署と協力して、春の交通安全運動も開催。お田植え祭終了後、両警察署主催による交通安全パレードが行われ、重要伝統的建造物群保存地区内(かやぶきの里北集落内)を、警察騎馬隊2頭を先頭に早乙女、交通安全協会役員、京都・福井のゆるキャラ等が練り歩き、多くの観光客に交通安全をアピールしました。

騎馬隊と早乙女そしてかやぶき民家の融合は珍しく、カメラマンは盛んにシャッターチャンスをつかっています。

(取材:中野貞委員)(写真:澤田肇さん)

委員ぶらり旅

旅人:梅津義明 委員

周山街道を訪ねて



かつて周山街道は、京の御室から高雄を経て福井県小浜へと通じる街道で、若狭から都へ海の幸を運んだ道でもあった。

明治24年ごろには牛車を通れるようになりその後、現在の道すじをたどるようになる。

北山杉の里「中川」を抜けると栗尾峠を越えてやがて丹波の山並みに囲まれた「周山」が見えてくる。天正7年織田信長の命により丹波を平定した明智光秀によって命名されたといわれる「周山」を抜け、深見峠を越えると由良川の清流沿いに開ける「美山」の箱庭のような美しい風景が視界に入ってくる。

由良川と棚野川の合流点鶴ヶ岡をへて堀越峠を越えると、福井県田庄から若狭小浜にたどり着く。

いくつもの峠を越えて若狭と京を結んだ周山街道は、今も長い歴史を物語っている。



平成26年度京都府内「農業委員会だより広報ヨンクール」で「銅賞」をいただきました。

編集後記

鳥獣害対策用の電気さくで事故が発生しました。このような悲劇が二度とおこることがないことを願います。他人事として受け止めるのではなく、設置者はもちろん市民一人ひとりが感心を高め事故防止に努めることが望まれます。今一度安全確認をお願いします。